

クレジットがあがらない（電子式コインセクター）

Rev. 2011/03/23.

対象; DL2-EX・EX-F、DL1-CVT (MATRIX)
不具合箇所; I/O ボード・コインセクター
症状; クレジットがあがらない（電子式コインセクター）
対応; 下記1番から順番に試して下さい。

EX の場合、参照 ; (関連情報; 1. SG-968 調整について)

写真; DL2EX 電子式コインセクター(SG-968)

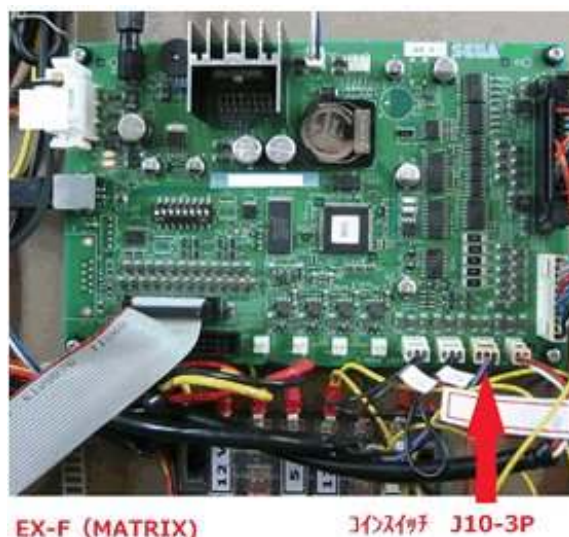


1. 配線チェック

I/O ボードのJ10の3ピンコネクタが正しく入っているか。

写真; DL2-I/O ボード J10の位置(右下赤矢印)

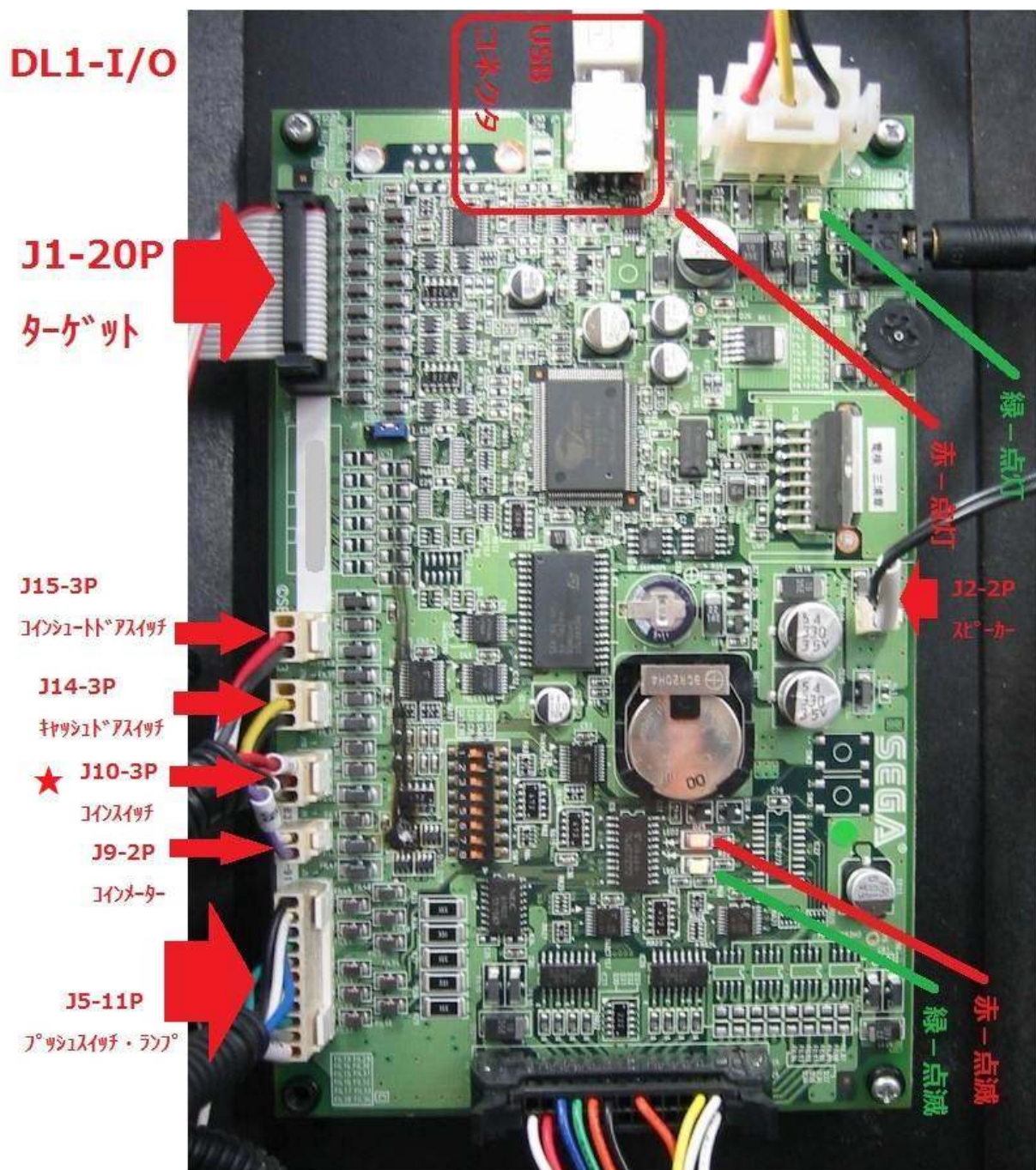
DL2-EX-F (MATRIX)



EX-F (MATRIX)

コイン投入 J10-3P

写真： DL1-I/O ボード



2. コインセレクトに挟んでいる参照用コインに問題は無いかな？

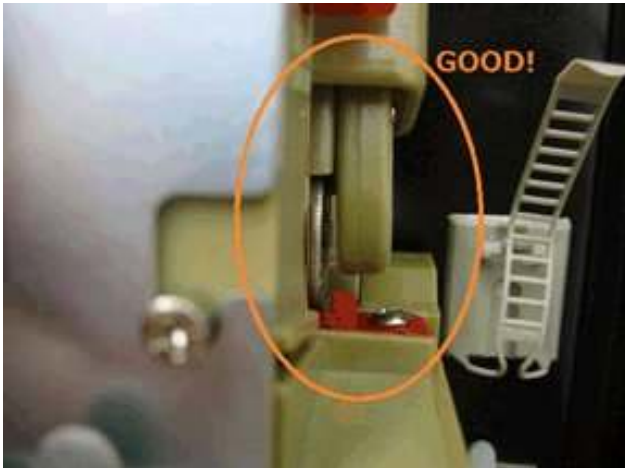
参照用コインの状態(外観・傾き等)が悪いとキャンセル(リジェクト)されてクレジットが入りづらくなります。

新規設置等の注意事項： 参照用コインはバネで押さえ込んでいるだけです。

輸送・設置での位置・傾きのずれが発生することがあります。

センサー用コインは設置時に調整・確認してください。

写真： 良好な状態



半分くらいリジェクトする状態(コインが傾いている)



3. コイン信号の時間設定スイッチは合っているか？(EX 等;SG-968 限定)

コイン信号の時間設定は、3 種類あります(100msec、50msec、20msec)。

設定値は真ん中の【50msec】です。

図中の ⑧ 参照

4. 感度調整ボリューム位置の確認。(EX 等;SG-968 限定)

ここで感度(許容誤差範囲)調整が出来る。

出荷時設定は、中心(12 時の位置)です。(切り欠きが上で水平位置)

右に回すと、許容誤差範囲が大きく(受け入れ易く)なります。

(誤差範囲を大きく設定すると、誤受入する場合があります)

左に回すと、許容誤差範囲が小さく(受け入れ難く)なります。

図中の ⑨ 参照

5. コインセクター ⇄ I/O ボードの配線。

コインセクター ⇄ I/O ボードの配線をチェックし、接触不良・断線がないかを確認。

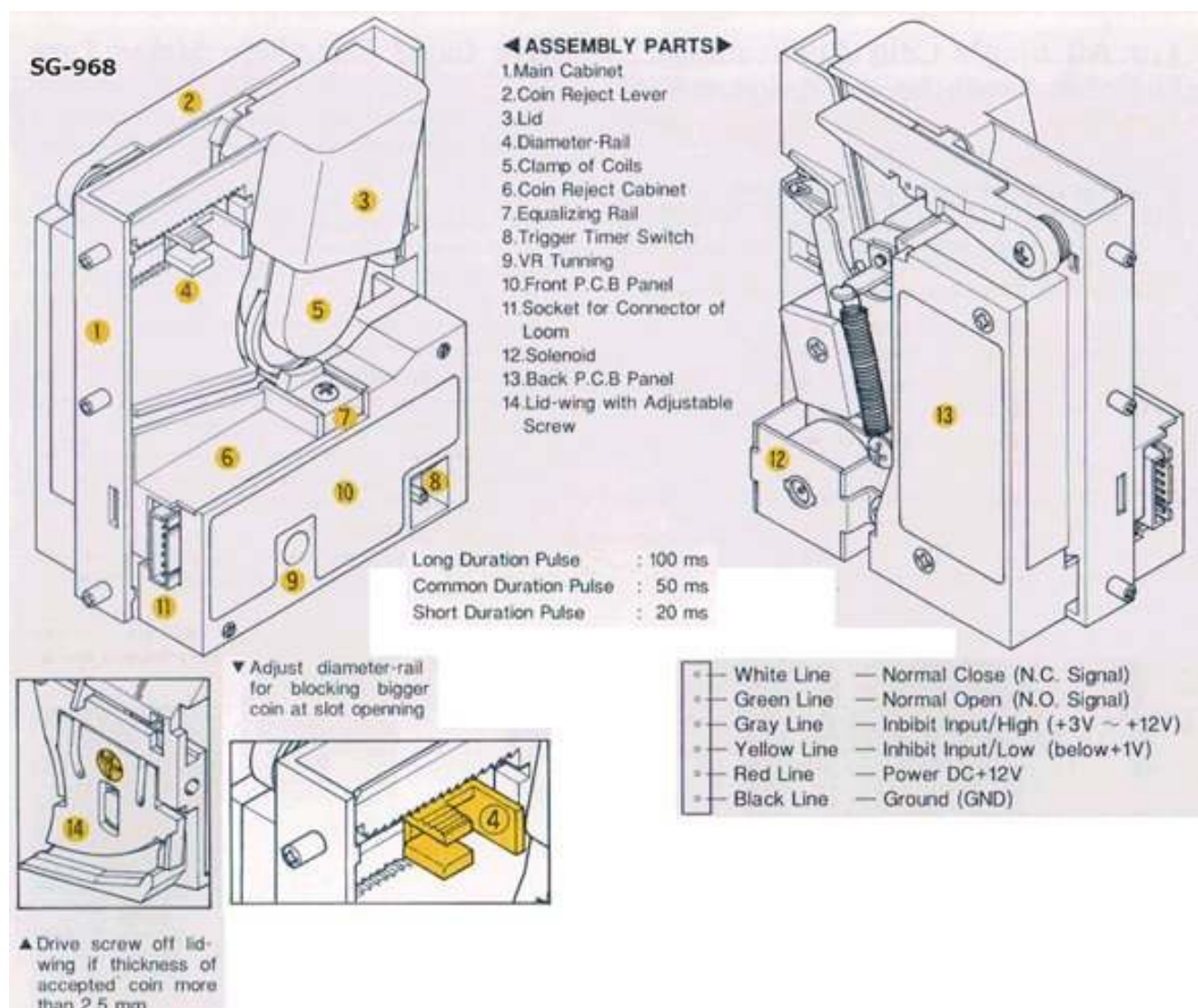
正常の場合、2台以上筐体がある場合は正常マシンとI/O ボードを交換してなおるかチェック。

⇒ 直ればI/O ボードの交換。

⇒ 直らない場合は配線の接触及び断線。

関連情報:

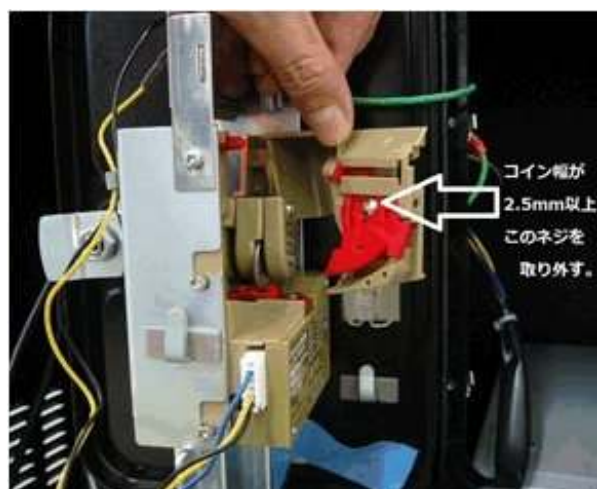
1. SG-968 調整について



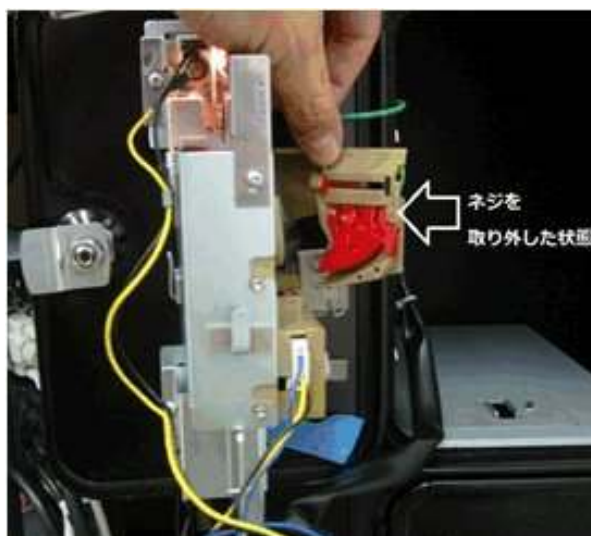
図中④のスライド位置で、受入れるコインの最大径(直径)を調整できます。

図中⑭のネジを取り外すことで、受入れるコインの厚みを 2.5mm 以上に調整できます。

写真； ネジ位置



ネジを取り外した状態



2. SG-968 感度設定スイッチの補足

SG-968 には、取扱説明書に記述されていない感度設定スイッチがあります。(下の写真参照)
このスイッチは取り付け板金ブラケットに隠れているので、取り外さないで確認できません。
設定値は、工場出荷時に高感度(High; スイッチ設定＝下側)にしています。
項目4の感度調整ボリュームを目一杯左に回しても誤受入する場合、この感度設定スイッチが
低感度(Low)になっていないかを確認してください。

写真 ; SG-968 感度設定スイッチ



3. MATRIX/ENGLISH CLASSIC (DL1-CVT・DL2-CVT・EX-F) ; の電子式コインセレクト

写真 ; MATRIX/ENGLISH CLASSIC



写真 ; 電子式コインセレクト



写真 ; 電子式コインセレクト後側



図 ; 電子式コインセレクトコネクタ・スイッチ

